

製品名: MRCKG ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14080**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	170kDa

抗原情報

遺伝子名	CDC42BPG DMPK2
別名	
遺伝子 ID	55561.0
SwissProt ID	Q6DT37
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 1370~1450

背景

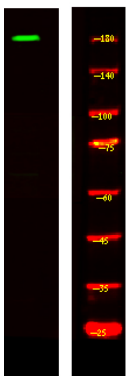
触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。補因子: マグネシウム。酵素調節: キナーゼドメインと負の自己調節性 C 末端コイルドコイル領域との相互作用により、不活性な閉じた構造を維持する。ホルポールエステル結合部位へのアゴニスト結

合によりこの構造が破壊され、キナーゼドメインが解放され、N末端を介した二量体形成とトランスオートリン酸化によるキナーゼ活性化が可能になる。機能: 細胞骨格再構成において CDC42 の下流エフェクターとして機能する可能性がある。MYPT1 の調節、ひいては MLC2 のリン酸化を介して、細胞侵入に必要なアクチンミオシンの収縮に寄与する。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。AGC Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。DMPK サブファミリー。類似性: AGC キナーゼ C 末端ドメインを 1 つ含みます。類似性: CNH ドメインを 1 つ含みます。類似性: CRIB ドメインを 1 つ含みます。類似性: PH ドメインを 1 つ含みます。類似性: ホルポールエステル/DAG 型ジンクフィンガーを 1 つ含みます。類似性: タンパク質キナーゼドメインを 1 つ含みます。細胞内位置: 細胞の先端に集中しています。サブユニット: コイルドコイル領域を介してホモ二量体とホモ四量体を形成します。GTP 結合型 CDC42 とは強固に相互作用するが、GDP 結合型 CDC42 とは相互作用しない。組織特異性: 心臓および骨格筋で発現する。触媒活性: $ATP + \text{タンパク質} = ADP + \text{リン酸化タンパク質}$ 。補因子: マグネシウム。酵素調節: キナーゼドメインと負の自己調節 C 末端コイルドコイル領域との相互作用により、不活性な閉じた構造を維持する。ホルポールエステル結合部位に結合するアゴニストがこの構造を破壊し、キナーゼドメインを解放して N 末端を介した二量体形成とトランスオートリン酸化によるキナーゼ活性化を可能にする。機能: 細胞骨格再構成において、CDC42 の下流エフェクターとして機能する可能性がある。MYPT1 および MLC2 のリン酸化を制御することで、細胞侵入に必要なアクチンミオシンの収縮に寄与する。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。AGC Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。DMPK サブファミリー。類似性: AGC キナーゼ C 末端ドメインを 1 つ含む。類似性: CNH ドメインを 1 つ含む。類似性: CRIB ドメインを 1 つ含む。類似性: PH ドメインを 1 つ含む。類似性: ホルポールエステル/DAG 型ジンクフィンガーを 1 つ含む。類似性: タンパク質キナーゼドメインを 1 つ含む。細胞内局在: 細胞の先端部に濃縮される。サブユニット: コイルドコイル領域を介してホモ二量体およびホモ四量体を形成する。GTP 結合型 CDC42 とは強く相互作用するが、GDP 結合型 CDC42 とは相互作用しない。組織特異性: 心臓および骨格筋に発現する。

研究分野

-

画像データ



HEK293 の溶解物のウェスタンブロット分析。一次抗体は 1:1000 希釈。二次抗体は 1:10000 希釈。